第１学年　算数科学習指導案

日　時　令和７年７月１１日（金）5校時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　対　象　１年１組　32名

授業者　岩渕　里美

１　単元名　　「のこりはいくつ　ちがいはいくつ」

２　テーマ　　友達と話し合いながら問題を理解しようとする子どもたち

３　本時の授業

（１）目標

　　　　問題場面を確認するためにブロックを動かす活動を通して，前時と同じように減法で求められることに気付き，友達に説明することができる。

（２）展開（３/９）

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| １　既習内容と確認  　〇残りを求める計算をする。  ２　問題の発見  あかい　おはなが　３ぼんあります。  しろい　おはなは　なんぼんあるでしょう。  　・このままではわからない。  　・全部でお花がいくつあるかを知りたい。  　　→全部で８本あることを知る。    ３　めあての設定  　どんなしきになるかな。  ４　課題解決  　〇自力解決をする。  ・ブロックを使い，問題の状況を表す。  　　①わかっている方を取る。  ②わかっている方を黄色，わからない方を白色に  する。（色を分ける。）  　・〇を描く。  　　〇〇〇〇〇　→〇〇〇  　・式に表す。  　　８－３＝５  　〇隣同士で考えを伝えあう。  　・ブロックを動かしたり，ノートを指したりしながら  説明し合う。  ５　解決方法の共有  　〇黒板でブロックを動かす。  　〇黒板に図を描く。    ６　まとめの共有  　わからないかずをだすときも，ひきざんになる。  ７　振り返り  　〇友達に考えを伝えられたかを◎・〇・△で振り返る。 | ・ひき算で求められることを確認する。  ・お花の絵を見せる。赤いお花（３本）だけ見せ，白いお花の絵はかくしておく。  ・子どもたちにもっと知りたいことはないかを  聞く。  ・前までは，減っていたことを確認する。  ・何を使って考えるかを聞く。（ブロック，〇を描く）  ・迷っている人には，ブロックを８個出させて考えさせる。  ・ブロックを使った人は，ノートに○を描いてみるように声をかける。  ◎ブロックを動かしたり，ノートに描いた図を指したりして，友達と考えを伝えあうことができている。  【思考・判断・表現】ノート，観察  ☆自分の考えをうまく言えない時は，ブロックを動かしたり，ノートを指したりしているかを見届ける。  ・ブロックを取る動作が同じだから，式は前時と同じひき算になることを確認する。  ・答えは５本だということを確認する。  ・子どもたちの言葉を使ってまとめる。 |